



大東建託 ディスクロージャー優良企業表彰に寄せて

大東建託株式会社 代表取締役社長 CEO 熊切 直美

1. 受賞の感想

この度は、建設・住宅・不動産部門において「ディスクロージャー優良企業」にご選定いただき誠にありがとうございます。今回で8回連続、通算9回目の受賞となりました。

我々の事業活動と企業価値向上に向けた地道な取組みをご評価いただけたことは、公平・公正な開示を実践する当社と致しまして大変光栄であります。ひとえに関係者の皆さまによるご支援の賜物と厚く御礼を申し上げます。今後とも誠意をもって皆様方との対話に臨む所存です。

当社は1974年に創業し、都市近郊の土地所有者様に対し、建物賃貸事業を通して土地の有効活用や資産承継のサービスを提供して参りました。賃貸建物の建設、一括借上げ、入居者斡旋、管理運営までの「賃貸経営受託システム」を展開し、おかげさまで今年9月末には、賃貸建物のオーナー様数は8万5千名、管理戸数は109万7千戸となり、その建物で生活されている入居者様数は200万名を超えるまでになりました。当社の社会的な責任に改めて襟を正すとともに、ステークホルダーの皆さまからの負託に応えるべく、業務に邁進してまいります。

2. 当社のIR活動

今年度の評価内容を改めて拝見しますと、「フェア・ディスクロージャー」や「コーポレート・ガバナンス」、「説明会・資料開示」など、当社が継続して力を入れている取組みについて引き続き高い評価をいただくこ

とが出来ましたので、当社の活動内容について若干補足をさせて頂きたいと思います。

「フェア・ディスクロージャー」については、業績速報の迅速な開示や、国内・海外問わず投資家様の受け取る情報に差が出ないように日本語・英語による公平な開示に努めています。「コーポレート・ガバナンス」については、経営の意思決定・監督体制と業務の執行体制の分離を推進するとともに、取締役会構成メンバーの44%を占める独立役員(社外取締役3名・社外監査役4名)の参加による透明性の高い経営の実現に努めています。

また「説明会・資料開示」については、マネジメント自らが率先して、投資家様や証券会社アナリストの皆さまと対話を実践していることに加え、決算説明会の質疑応答も開示しています。更に、当社事業への理解を深めて頂く為に、定期的な現場見学会や事業説明会を開催しており、その際にはご紹介する各事業の責任者に同席頂き、現場の”生の声”を参加される投資家様にお伝えしています。

3. 証券アナリストに期待すること

日頃からご支援を頂いているアナリスト・投資家の皆さまに改めて御礼を申し上げるとともに、引き続き積極的な対話及び企業価値向上に努めて参ります。皆さまにおかれましても、是非中長期の視点で当社企業価値向上に繋がるご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。